

＜一般部門・中小規模建築物部門の採択プロジェクト一覧＞

No.	プロジェクト名【区分】		イメージ図
	代表提案者		
	概要		
1	品川区新総合庁舎（品川区役所新庁舎）【建築物(非住宅) / 一般部門】		
	品川区		
	東京都品川区に位置する区庁舎の新築プロジェクト。品川区は「SDGs 未来都市」に採択され、ZEB 認証を進めるなど 2050 年ゼロカーボン実現に向けて先駆的に取り組んでおり、新庁舎整備においても ZEB Ready 以上の環境性能の実現を目指す。		
2	築地二丁目地区プロジェクト【建築物(非住宅) / 一般部門】		
	日鉄興和不動産株式会社		
	東京都中央区の築地駅に直結し拠点性の高い場所に位置する高層オフィスビルの新築プロジェクト。高層部は新たな築地のランドマークの創出を、低層部は築地らしい居心地の良い屋外空間を整備し、建物全体で ZEB Oriented 相当、オフィスでは ZEB Ready を目指す。		
3	（仮称）福岡・大手門一丁目計画【建築物(非住宅) / 一般部門】		
	野村不動産株式会社		
	福岡県福岡市に位置する家庭裁判所跡地において総合設計制度を利用したオフィス・ホテル・住宅の複合用途による新築プロジェクト。用途特性及び地域特性を踏まえた先導的な省 CO ₂ 技術を採用し、市内における環境配慮型ビルのリーディングプロジェクトを目指す。		

4	北陸銀行（仮称）ほくほくFG本社ビル 新築工事 【建築物(非住宅) / 一般部門】 株式会社北陸銀行 富山県富山市の駅近くに位置する地方銀行の本社新築プロジェクト。総合設計制度を活用し敷地内の緑化や歩行空間の整備による地域活性化を図るとともに、立地特性を活かした環境性能と快適性を両立した先進的なオフィスを目指す。	
5	新千葉県立図書館・県文書館複合施設 【建築物(非住宅) / 一般部門】 千葉県 千葉県千葉市に位置する県立図書館3館と県文書館1館を統合し、緑豊かな県立公園内に新築する複合施設プロジェクト。様々な省CO₂技術を複合的に活用し、建築と設備の統合デザインを積極的に行うことで、県立図書館としては稀なZEB Ready認証を取得した計画である。	
6	ミクニかなめプロジェクト 【建築物(非住宅) / 一般部門】 株式会社ミクニ 神奈川県小田原市に位置する自動車部品等の開発・製造企業による新築の研究棟開発プロジェクト。計画地は里山や水辺に囲まれた自然環境にあり、周辺には地下水が湧き出し、豊かな水資源や生態系が自然と人の共生の基盤となっており、この自然資源と土地のポテンシャルを最大限に活用することを目指す。	

7	立命館衣笠キャンパス デザイン・アート学部・研究科（仮称）施設整備事業 【建築物(非住宅) / 中小規模建築物部門】 学校法人立命館 京都府京都市に立地する大学キャンパス内に次世代研究大学の実現にむけた新棟整備プロジェクト。センシング技術と空調・照明制御により、クリエイティブ思考を深める計画と一体となった、内部の快適性・知的生産性と省 CO₂ 効果・密集地である周囲環境への配慮を両立させる環境計画を目指す。	
8	亀喜工業新本社 【建築物(非住宅) / 中小規模建築物部門】 亀喜工業株式会社 兵庫県神戸市に位置する本社機能を有する事務所用途を中心に作業場・倉庫を有する新築プロジェクト。非空調エリアを利用した空調空気のカスケード利用、空調の共用など、倉庫を利用した取り組みに加え、吹抜けを使用した積極的な自然エネルギー利用、太陽光発電・電気自動車の連携等により、普及型ローコスト ZEB Ready を目指す。	
9	脱炭素志向型高層集合住宅プロジェクト 【共同住宅/一般部門】 東急不動産株式会社 東京都千代田区の空間的・景観的に質の高い住環境地域における分譲共同住宅の新築プロジェクト。脱炭素志向型住宅や省エネ促進のための DX 導入、自然エネルギー利用と LCP 強化等を取り入れ、「手入れしながら長く使い続ける」ことを前提とした次世代のスタンダードとなる環境施策を施した共同住宅を目指す。	

10	あおり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト【戸建住宅/一般部門】 あおりGX住宅ビルダーズ 青森県と地元工務店グループによる戸建住宅の新築プロジェクト。積雪寒冷地において最適化した住宅性能を確立し、県独自の省エネ住宅基準の普及を目指す。	あおりGX住宅ビルダーズ 地域経済の活性化 青森県 品質保証 地域経済へ貢献 情報提供 情報提供 地元工務店設計事務所 ネットワーク サポーター 教育・民間企業他 地元企業の信頼性向上 地域住民・事業者ネットワーク強化 「あおりGX住宅」を普及するために、2025年6月に県内企業や関連団体によるプラットフォームを設置(7月時点で計58団体参加 ビルダー38社、サポーター20社)										
11	一般社団法人北海道ビルダーズ協会 北海道の地域工務店が加盟する団体による戸建住宅の新築プロジェクト。道が設定した住宅性能基準の住宅を建設し、更に住宅履歴情報を活用して長期的な維持管理に対応した質の高い住宅供給を目指す。	＜北方型住宅ZEROの目指す性能＞ 北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）【改定版】における2030年度の温室効果ガス排出量削減目標である48%（対2013年度比）に向け、新築住宅では、現行省エネ基準の住宅と比較して約30%のCO₂排出量削減（1棟あたり年間で約2tの排出量削減）を目指します。 北方型住宅ZERO 北方型住宅2020 1t-CO₂/年削減 高断熱・高効率化高効率設備の採用 (断熱材・断熱・換気・照明) 長寿命 安心・健康 地球にやさし ■外皮平均熱貫流率(U_a値)：0.34W/(m²・K)以下 ■気密性能(C値)：実測値1.0以下 ■一次エネルギー消費量(BE1)：0.8以下 ■エネルギー消費量の少ない高効率設備を導入 (例：高効率冷暖房、給湯、換気、照明設備の導入等) 脱炭素化に資する対策 (ポイントとして加算) 1t-CO₂/年削減 10pt以上で達成 ○再生可能エネルギーの活用 ○更なる断熱性能の強化 ○開口部の性能強化 ○適量木材の活用(構造材等) ○木質バイオマスの活用 など 脱炭素化に資する対策 (例) ポイント (CO₂削減量) <table> <tr> <td>・外皮平均熱貫流率U_a値を0.20W/(m²・K)以下</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>・太陽光発電設備を屋根面と壁面に設置(合計5kW)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>・太陽光発電設備と連携して、蓄電池設備を設置</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>・主たる構造材に適量木材を活用</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>・木質バイオマス(断材等)を補助燃焼に利用</td> <td>1</td> </tr> </table>	・外皮平均熱貫流率U _a 値を0.20W/(m²・K)以下	5	・太陽光発電設備を屋根面と壁面に設置(合計5kW)	6	・太陽光発電設備と連携して、蓄電池設備を設置	5	・主たる構造材に適量木材を活用	2	・木質バイオマス(断材等)を補助燃焼に利用	1
・外皮平均熱貫流率U _a 値を0.20W/(m²・K)以下	5											
・太陽光発電設備を屋根面と壁面に設置(合計5kW)	6											
・太陽光発電設備と連携して、蓄電池設備を設置	5											
・主たる構造材に適量木材を活用	2											
・木質バイオマス(断材等)を補助燃焼に利用	1											